

陳 情 文 書 表

(都市計画局)

受 理 番 号	1 9 4 2	受 理 年 月 日	令 和 3 年 11 月 24 日
件 名	小金塚地域循環バスの運行継続		
要 旨	<p>小金塚は昭和40年頃より丘陵地に造成された住宅地で、住民は急な坂道を上り下りして生活をしてきた。10年以上前から、地域の高齢化を見据え、循環バスの実現について自治連合会挙げて市に要望してきたところ、バス運行に必要な道路整備をしてもらい、2019年3月21日に京阪バスによる実証運行が開始された。地域挙げての乗車運動で、敬老乗車証の交付申請を増やし乗客も増加していた。</p> <p>本来であれば、今年には本格運行ができるよう取組を進めてきたが、昨年1月来の新型コロナウイルス感染症の拡大により、感染防止のため外出自粛が要請され、今年に入って、経営悪化を理由に京阪バス会社から運行の中止が申し入れられたということであった。</p> <p>来年4月からの運行が継続できないというのは、小金塚の住民にとって余りにも残念であり、到底受け入れられるものではない。</p> <p>小金塚のバス運行について、高齢の住民のボランティア運行も検討されているということを知った。しかし、安全に運行を継続できるという保障は全くない。また、ボランティア運行を維持する運営の責任を住民が負えるものでもない。</p> <p>買物や病院通いなど生活に不可欠なバスがなくなれば小金塚で住み続けられないという切実な思いがある。</p> <p>これまで小金塚のバス運行のために投資をしてもらい、住民の協力で運行の実験を進めてきたことからしても、また、市バスの撤退した山科区の住民にとって大きな期待があることからしても、京都市の責任において、小金塚の循環バスの運行を継続することを強く望む。</p> <p>なお、本陳情に署名669筆を添えて提出する。</p>		
陳 情 者			
回 付 委 員 会	まちづくり委員会		